

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	下水道課	主管課長名	高久 均
5-5	施策名	下水道の整備	関係課	なし		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度		
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,738	40,467	40,197	
実績値						41,278	41,008				
②桜川市世帯数			見込値	世帯		13,700	13,684	13,668	13,652	13,636	
						実績値	13,700	13,684			
		見込値									
					実績値						
的		施策の意図	成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
		快適で衛生的な生活環境で暮らしている。	①生活排水処理普及率	%		目標値	68.70	69.00	69.30	69.60	70.00
						実績値	70.5				
			②公共下水道普及率	%		目標値	15.70	15.80	15.90	16.00	16.10
	実績値					15.8					
	③桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地蔵橋」地点)		mg/L		目標値	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
					実績値	2.3					
	④公共下水道接続率 農業集落排水接続率		%		目標値	54.0 80.5	56.0 81.5	58.5 82.5	60.0 83.5	61.5 84.0	
					実績値	53.47 80.4					
	⑤公共下水道使用料収納率 農業集落排水使用料収納率		%		目標値	98.80 97.65	98.80 97.65	98.80 97.65	98.80 97.65	98.80 97.65	
実績値					98.78 97.56						
成果指標設定の考え方	○「快適で衛生的な生活環境で暮らしている」の指標については①生活排水処理普及率の指標が上がれば成果が上がると考えられる。 ○「公共水域の水質汚濁防止」について、桜川市内の最下流「地蔵橋」地点の水質(BOD)で見る。(基準値2.0mg/L)										
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口、世帯は、毎年10月1日の常住人口。 ○①生活排水処理普及率、②公共下水道普及率、④公共下水道接続率・農業集落排水接続率は、生活排水ベストプランより求める。⑤公共下水道使用料収納率・農業集落排水使用料収納率は、過去の実績より求める。										

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がすべて向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した成果が多かった	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 低下した成果が多かった	<input type="checkbox"/> 成果がすべて低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理普及率は、29年度で70.5%、28年度で69.4%で1.1ポイント増加した。この要因は合併処理浄化槽整備人口の増に伴う汚水処理人口の増加による。 公共下水道を対象とする下水道普及率は29年度末で15.8%、28年度末も15.8%であり横ばいである。 公共下水道接続率は、29年度末で、53.5%、28年度は51.1%と2.4ポイント増加した。 農業集落排水接続率は、29年度80.4%、28年度79.7%で0.7ポイント増加した。この要因として、20年度から、公共下水道接続工事費補助金を導入したこと、接続キャンペーンと戸別訪問を行ったことによると思われる。 桜川の水質については、市内下流の地蔵橋地点の水質でみると、水質基準を満たしている。 		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 目標値を上回ったものが多かった	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回ったものが多かった	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理普及率は、29年度目標値が、68.7%に対し、70.5%であり、1.8ポイント上回った。 公共下水道普及率は、29年度目標値は15.7%に対し、15.8%であり、1.0%上回った。 桜川の水質(BOD)は29年度目標値は、1.1mg/lに対し、2.3mg/lであり、1.2mg/l上回った。 公共下水道接続率は、29年度目標値は、54.0%に対し、53.47%と0.53%下回った。 農業集落排水接続率は、29年度目標値は、80.5%に対し、80.4%であり0.1%下回った。 公共下水道使用料収納率29年度は、98.80%に対し、98.78%と0.02%下回った。 農業集落排水使用料収納率は、29年度目標値は、97.65%に対し97.56%であり、0.09%下回った。 		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
生活排水処理普及率の目標値に対する実績値にみられるように、合併浄化槽を含めた下水道の整備が年々進んでいる。しかし、農業集落排水事業や公共下水道事業に対する市民の理解度が依然低いまななので、接続率の実績値が目標値に対して低い水準にあり、結果的に市内の河川の水質向上も大きくは改善されていない。また、接続率の低迷は経営環境の困難にもつながっている。	引き続き、予算の範囲内で公共下水道事業や合併浄化槽補助事業による下水道整備を進めるとともに、下水道キャンペーンや戸別訪問により、市民への啓発や下水道接続支援制度の拡充の周知を行い、接続率の向上を図る必要がある。